

令和4年7月1日

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所
政策フォーラム

問題行動のある知的・発達障害児者を支援する

心理教育教材「キックスタート、トラウマを理解する」活用ガイド

トラウマ（心的外傷）があり、あわせて問題行動のある知的・発達障害児者のための心理教育教材「キックスタート、トラウマを理解する」と、児童期逆境体験 ACEs のスクリーニング「子ども時代のつらかった体験（ACEs）質問表」を具体的に紹介し、日々の支援に役立つお話です。



明石書店 2,000 円+税

令和4年8月30日（火）
午後2時から4時

大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター
4階会議室1Aにて

心理教育教材（テキスト）を事前にご用意ください（当日会場でも販売します）

講師 **本多 隆司** さん（種智院大学教授）

1978年大阪大学大学院人間科学研究科前期課程修了後、大阪府において心理職として児童相談所（現、子ども家庭センター）、身体障害者更生相談所を経て、障害者福祉や権利擁護等を担当。2005年より種智院大学、現在教授。著書に『高齢者の権利擁護』（分担執筆、2004年）、『反社会的行動のある子どものリスク・アセスメント・リスト』（監訳、2012年）、『性問題行動のある知的障害者のための16ステップ「フットプリント」心理教育ワークブック 第2版』（監訳、2015年）、『性問題行動のある知的・発達障害児者の支援ガイドー性暴力被害とわたしの被害者を理解するワークブック』（共著、2016年）等、他に性問題行動のある知的障害者等を対象に福祉・司法関連施設において心理支援活動を続け、それらをテーマとした論文、学会発表、講演や研修等。

本書の主な目次

1. トラウマ
 - 1-1. トラウマ
 - 1-2. 児童期逆境体験 ACEs などのトラウマによる影響や症状
 - 1-3. 知的・発達障害児者のトラウマ体験
2. スクリーニングから心理教育へ
 - 2-1. スクリーニングの必要性和目的
 - 2-2. 心理教育の重要性
3. 実践
 - 3-1. 児童期逆境体験 ACEs のスクリーニング

3-2. 『キックスタート,トラウマを理解する』による心理教育

4. 事例による解説

4-1. Aさんは支援者とともにトラウマの影響を学んだ

4-2. Bさんは性問題行動再発防止プログラムの実施中にトラウマの影響に気づいた

5. トラウマ・インフォームド・ケア TIC の導入

5-1. トラウマ・インフォームド・ケア TIC の考え方 5-2. 再トラウマ化を防ぐ

5-3. 支援の実際 5-4. 問題行動との関連 5-5. リカバリーへ

実践のためのツール

キックスタート,トラウマを理解する

子ども時代のつらかった体験 (ACEs) 質問表

「子ども時代のつらかった体験 (ACEs) 質問表」に答える人の同意書 (例)

「子ども時代のつらかった体験 (ACEs) 質問表」結果整理表

【会場案内図】 JRまたは大阪メトロ 森ノ宮駅から徒歩5分



【参加費 無料】

参加を希望される方は、
事務局まで電話にてお申し込みください (先着 50 名)

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 事務局

〒574-0036 大阪府大東市末広町 15-6

Tel 072-869-6555 Fax 072-889-2365